

4月、5月
上映

みんなで観ましょう DVD鑑賞会

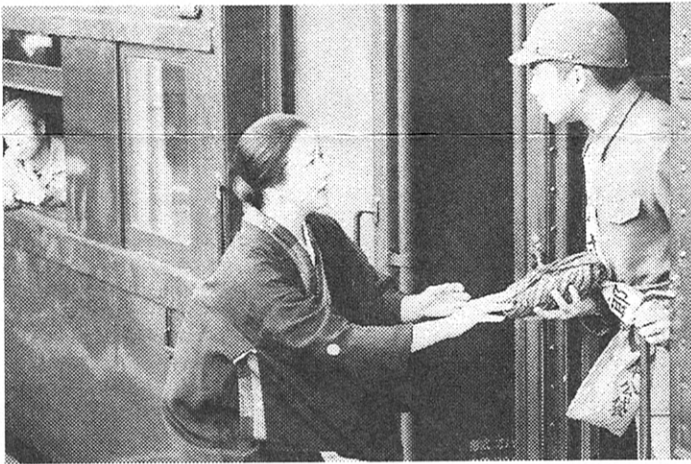
鑑賞する映画は民医連の月刊誌「いつでも元気」で紹介されたものなどを中心に選択しています。

4月17日(水)

葛西みなみ診療所 5階ホール

14:00~16:35 入場無料

おかあさんの木 (114分)



2015年制作 出演：鈴木京香、三浦貴大、志田未来、田辺誠一、平岳大

ストーリー 昭和初期、長野県の田舎の村。7人の息子を生んだミツ(鈴木京香)だったが、若くして夫・謙次郎(平岳大)が心臓発作により他界。息子たちは立派に成長するも次々と出征し、ミツはそのたびに畑に桐の木を植えていた。謙次郎の同僚だった昌平(田辺誠一)やその娘・サコリ(志田未来)らに気遣われながら、ミツは木に語り掛け、息子の帰りを待っていた

解説 小学校の国語教科書に長期にわたり掲載された大川悦生の児童文学を基に、7人の子供を戦地に送り出した母の愛を描いたヒューマンドラマ。貧しいながらも子供たちを育て、戦地へ行った彼らを待つ母親を、鈴木京香が演じる。メガホンを取るのは、『解夏』『がんばっていきまっしょい』などの磯村一路。母と子供の関係性や周囲の人々との交流、どんなつらい時代にも強く生きる登場人物たちの姿が感動を呼ぶ。

5月22日(水)

葛西みなみ診療所 5階ホール

14:00~16:20 入場無料

家族 (106分)



1970年制作 倍賞千恵子、井川比佐志、笠智衆、前田吟、木下剛志、塚本信夫

あらすじ 炭鉱で細々と暮らす風見精一・民子夫婦は、会社が閉山したことから北海道の開拓村に入殖することを決断した。老いた父と幼ない二人の子供を連れ、住みなれた島への愛惜と、前途への不安をおしての辛い旅立ちだった。長崎から博多、福山、万国博で賑わう大阪、東京、東北の寒村を経て北海道の開拓村まで日本列島3000キロの長旅。わずか数日の間に、想像も及ばぬ困難や悲しい事故に直面し、驚きと言いいれぬ焦燥感にせきたられる家族。

解説 高度経済成長期の日本を背景に、貧しい一家が開拓村へ移り住むため長崎から遙か北海道へ向かう長い旅の道りを描いた異色ロードムービー。船や電車を乗り継いで行くその道中で、様々なトラブルや不幸に見舞われながらも家族の絆を拠り所に力強く生きていく姿が胸に響く感動作。監督は「男はつらいよ」シリーズの山田洋次。